

# 第84期 事業報告書

平成29年4月 1 日から  
平成30年3月31日まで

# 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

## 会社の概要

創 立	昭和28年5月25日
資 本 金	21億9,390万円
従 業 員 数	938名
U R L	<a href="http://www.fukuvi.co.jp/">http://www.fukuvi.co.jp/</a>

## 主要な事業品目

### 建 築 資 材

外 装 建 材	セミックス(窯業系不燃外装材)、コンパルソラー(耐候性樹脂製外装材)、左官定木、エコランバー、換気材、スーパーエアテックス(防風透湿シート)、土台パッキン、エクラート(FRP製外装装飾材)、ウェザータイト(防水部材)、耐震関連部材
内 装 建 材	バスパネル(浴室用パネル)、見切、内装下地材、点検口枠、アルパレージ、樹脂開口枠、養生材、フクフォーム・フクフォームEco(断熱材)、ケンジュール(人工大理石)
床 関 連 材	クッションフロア、床タイル、フリーフロア、乾式遮音二重床システム、OAフロア(フリーアクセスフロア)、機能束(ブラ束、鋼製束)
システム建材	エアサイクルシステム、リフォジュール(リフォーム天井システム)、アリダン工法(防蟻工法)、ブラスッド(木粉入り樹脂建材)、メルツエンサッシ内窓

### 産 業 資 材

樹 脂 サ ッ シ	窓枠、浴室用ドア
産 業 機 器	車両部材、住宅設備部材、機器部材、仮設部材、精密化工品

## 役 員

(平成30年6月14日現在)

代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	八 木 誠 一 郎
代 表 取 締 役 員 副 社 長 執 行 役 員	采 野 進
代 表 取 締 役 員 専 務 執 行 役 員	大 畑 忠
取 締 役	岩 淵 滋 <small>群栄化学工業株式会社社外取締役</small>
取 締 役	奥 島 孝 康 <small>白鷗大学学長 早稲田大学元総長</small>
取 締 役	越 部 実
取 締 役 執 行 役 員	大 野 繁
取 締 役 執 行 役 員	加 川 潤 一
取 締 役 執 行 役 員	柴 田 寿 裕
取 締 役 執 行 役 員	豊 嶋 雅 子
常 勤 監 査 役	高 畑 慎 一 郎
監 査 役	玉 井 三 千 雄
監 査 役	藪 原 孝 夫

## 顧 問

顧 問	長 瀬 洋 <small>長瀬産業株式会社代表取締役社長</small>
顧 問	森 克 則 <small>三井物産プラスチック株式会社代表取締役社長</small>
顧 問	小 田 英 治
顧 問	有 馬 進
顧 問	林 茂 樹

# 100年企業に向け、 次代のビジネス創造へ。 化学の可能性を 若い力で芽吹かせる。

株主、投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに平成30年3月期の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 **八木誠一郎**



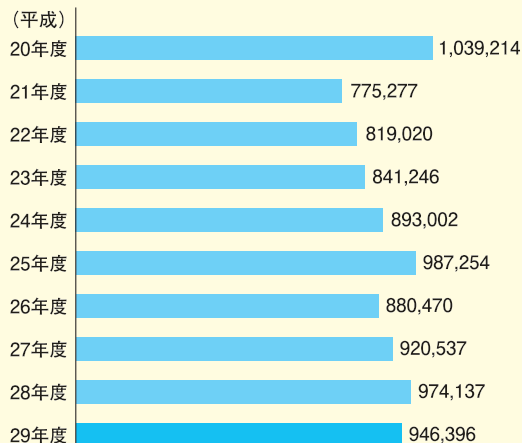
## Q 平成30年3月期のフクビ化学は、 どのような一年でしたか？

A 当期は、当社グループの中期経営計画「Vision 2019 CHALLENGE&CHANGE 目指せ100年企業!」の始動年度という重要な年でした。国内景気全体に回復基調を感じる事業環境でしたが、住宅業界においては、分譲マンションは好調であったものの、持ち家、貸家等の減少により、新設住宅着工数、床面積ともに、縮小傾向が顕著に表れております。一方で、リフォーム市場と事務所や工場、店舗やホテル等の非住宅分野は拡大しております。

そのような中、当社グループの建築資材事業は、ハウスメーカーやビルダー、ホームセンターなどに対する提案営業を継続するとともに、住宅のリフォームをはじめ、オリンピック関連やインバウンド需要、オフィスや医療・福祉用建築物等の非住宅

### 全国新設住宅着工戸数の推移

(単位:戸数)



(出典:国土交通省)

## トップインタビュー

分野への取り組みを積極的に進めてまいりました。産業資材事業では、住設部材・精密化工品などでお客様の課題にソリューションを提案していくエンジニアリングセールスを加速させ、新規案件の獲得に努めました。

これらの結果、当期の売上高は前年比1.2%増の401億77百77万円となりました。利益面では、生産性向上に向けた工場の再編・集約に伴う一時費用の増加や原料価格上昇等の圧迫要因もありましたが、全社一丸となって原価低減に取り組んだことにより、営業利益は13億61百万円(前期比1.1%増)、経常利益は15億81百万円(同0.7%減)となりました。また、工場集約に伴う跡地売却による特別利益を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は13億15百万円(前期比15.0%増)となりました。

### Q 当期にマーケットで評価を受けた製品について教えてください。

A 当期の特徴的な製品の一つとして挙げられるものは、日経アーキテクチャと日経ホームビルダーが主催する建材設備大賞において、もっとも評価の高い「大賞」を受賞した粒状床衝撃音低減材「サイレントドロップ」です。粒状の基材を袋詰めにして天井裏に敷設することにより、上階で人が歩いたり飛び跳ねたりした際に伝わる重量床衝撃音を抑えることができるため、上階の人に防音対策を依頼する必要がありません。再生樹脂製の特殊遮音粒材による建物の遮音対策としては全く新しいコンセプトの製品として戸田建設株式会社と共同開発し、平成29年10月に発売を開始いたしました。



また、住宅のデッキや縁側に使う人工木材「プラスッド ソライエデッキ」を平成29年2月に発売開始しています。この製品の原料には、福井県内の間伐材を微粉砕した木粉とリサイクル樹脂を混合し製造した木粉樹脂を使用し、当社ならではの成形技術で配合の違う複数の樹脂を一つの金型で混ざらないように生産しています。この成形技術により製品の表面と中心部、裏面で木粉の割合を変えることができ、本物の木材に近い風合いと経年による色落ちやシロアリ、木材腐朽に強いといった機能性とデザイン性をあわせもった製品となっています。工務店や設計事務所には、新築のみならずリフォームにおいてもご好評を頂いています。



### Q 福井県とフクビ化学の技術力、発想力を生かした取り組みが進んでいると伺いました。

A 福井県では、県の経済戦略「福井経済新戦略」の一環として、当社グループを始めとする産学官グループで、「橋梁補修・補強技術開発プロジェクト」を進めています。このプロジェクトは、老朽化した橋の補強に、鉄やコンクリートではなく、軽量で低コストの樹脂素材である炭素繊維複合材料を使う試みで、この度、次代を担う橋梁補修の技術開発として評価され、国土交通省の助成制度の採択を受けました。

炭素繊維複合材料は、軽い強い錆びない特長を持ち、小規模橋梁等のインフラの補修、補強、更新作業に大きな工期短縮と、製造から廃棄・処分までのライフサイクルコストの低減を目指すことができます。現在、事業化を視野に入れ、福井県あわら市の清間橋で国内初の実証実験にも取り組んでおります。



## ベトナムに新工場の建設を発表されました。 今後のグローバル戦略をお聞かせください。



平成31年2月の稼働を目指し、ベトナムのドンナイ省に自社の製造工場を建設いたします。これまでベトナムは賃借工場でしたので、現地で新工場建設予定地を視察した際は、フクビグローバル戦略の進展に、とても身の引き締まる思いがしました。ベトナムの新工場は、ASEANエリアでの製造および販売の中核拠点であり、今後も大きな市場拡大が期待される東南アジア地域の新規市場開拓の戦略基地としてまいります。

また海外売上高比率は、建材需要も旺盛な米国、再進出いたしましたタイを含め、以前は5%程度だったものが7%程度まで伸長してまいりました。今後は海外売上高比率10%を目指し、受託生産を中心に取引先企業の住宅建材や家電用部材の製造を進めてまいります。



## 新中期経営計画の狙いと今後の展開についてのお考えをお聞かせください。



当社グループは本年、設立65周年を迎えました。100年企業を目指し、あと35年をどう生きるのか。さらなる企業成長のためには、今までの事業の延長線上でなく、企業変革のスピードを高め、社員の高い志と夢の力で新たなビジネスモデルの構築を推進していくことが不可欠です。そのような中、当社グループの若手・中堅社員が「100年企業」を掲げた新中期経営計画をまとめあげてくれました。彼らが中心となって、人材育成、デジタル推進、働き方改革など今後の企業成長に向けた基盤強化に即したテーマに挑戦してまいります。

当社グループの企業理念は、「化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する」「企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生

型社会形成に寄与する」です。次代を担う社員たちが、素材、技術、人を掛け合わせた新たな付加価値を生み出し、化学の可能性を積極果敢に追求し、能動的に利益の機会創出を促す。これが私の理想とする経営のあり方です。



## 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いいたします。



新設住宅着工については、今後も厳しい事業環境が続くと思いますが、住まいという大きな視点で捉えたと時間軸は長く、社会変化に伴う住まいを鑑みると、まだまだビジネスチャンスにあふれています。実際に、戸建て住宅の着工件数が減る中でも、住宅を“健康に元気にする”さまざまな製品が奏功し、当期に売上を伸ばせた意義は大きいと考えます。

当社グループは、独自の樹脂成形により建材や産業資材を提供することに優位性と強みがあります。また好調なリフォーム市場や非住宅分野、さらに行政と取り組む老朽化したインフラの再整備など、成長分野での確かな手ごたえを感じています。

今後も中長期を見据えた計画の着実な実行により、株主や投資家の皆様のご期待に応える企業へと成長を果たす所存です。格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 新たな価値の創造へ

# もう上階の音に悩まない。 自室の天井で出来る上階の歩行音対策



上階の床の音が気になる時はありませんか？  
床の騒音で最も多い相談は『重量床衝撃音』です。

※(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターの相談統計年報 2009 より

### 重量床衝撃音とは

子供が飛び跳ねたり走り回ったりすることで下階に伝わる振動音



### 重量床衝撃音の対策は??

上階の足音はとても迷惑です。  
でもなかなか直接クレームは言いづ  
らいし、言っても改善されないケ  
ースが多々あります。  
そこで自室の天井で足音を改善で  
きる対策を提案いたします。

うるさい!



右面へ

粒状床衝撃音低減材

# サイレントドロップ

天井にのせるだけで上階の歩行音や  
飛び跳ね音などの重量床衝撃音を低減します。



特殊遮音粒材

日経アーキテクチュアと日経ホームビルダーが主催する  
建材設備大賞において「大賞」を受賞しました



建材・設備メーカーから  
応募された製品等を対象に  
審査委員会により選出

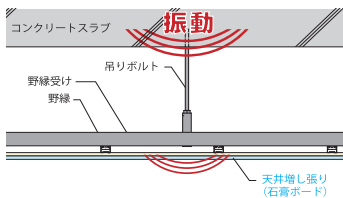
(2018年4月発表)



天井裏施工イメージ

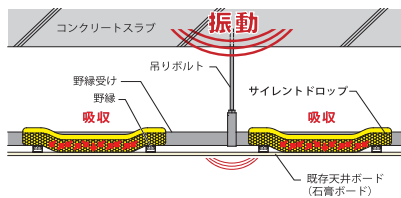
## サイレントドロップが振動を低減（天井増し張りとの比較）

### 従来の対策（天井増し張り）



既存天井より  
**1.9db 低減**

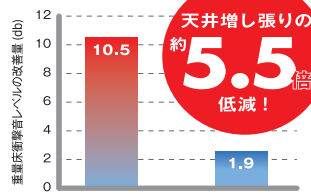
### サイレントドロップを使った対策



既存天井より  
**10.5db 低減**



を使うと



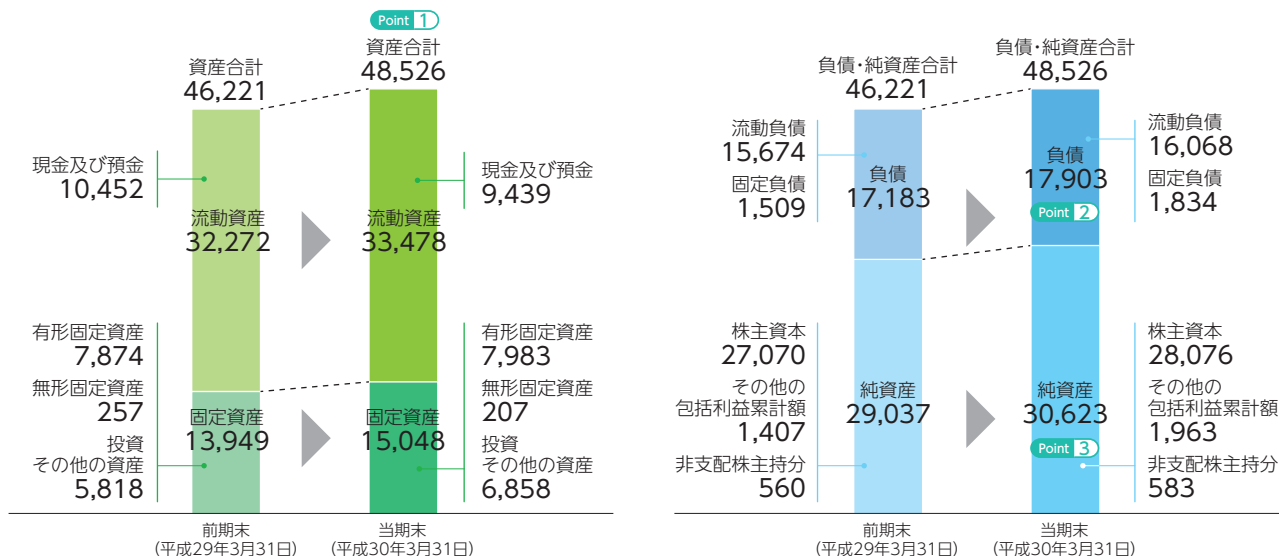
※推奨使用数量 1.5個～2個/m<sup>2</sup>  
 ※室内の天井以外の部位にはご使用できません。  
 ※野縁ピッチは 310mm 以下、天井ボードは普通石膏ボード9.5mm以上として下さい。  
 ※試験結果は、特定条件における試験結果であり、天井仕様や現場条件によって性能にバラつきが生じ、性能を保証するものではありません。

天井裏にのせるだけで、特殊遮音粒材同士の摩擦や衝突によって  
天井の振動を効率的に吸収し、重量床衝撃音を抑制します

この効果は、コンクリート100mm以上の増し打ちに相当!!

# 連結財務諸表の概要

## [資産の状況] (百万円)



## 資産の状況

### Point 1 総資産 (=資産合計)

総資産は、前連結会計年度末に比べ23億5百万円(前期末比5.0%)増加し、485億26百万円となりました。主な増減要因としては、流動資産では、現金及び預金が10億13百万円減少し、また、商品および製品が1億35百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金、電子記録債権が21億22百万円増加したことなどにより、12億6百万円(同3.7%)の増加となりました。固定資産では、有形固定資産が1億9百万円増加し、また、投資その他の資産が10億41百万円増加したことなどにより、10億99百万円(同7.9%)の増加となりました。

### Point 2 負債

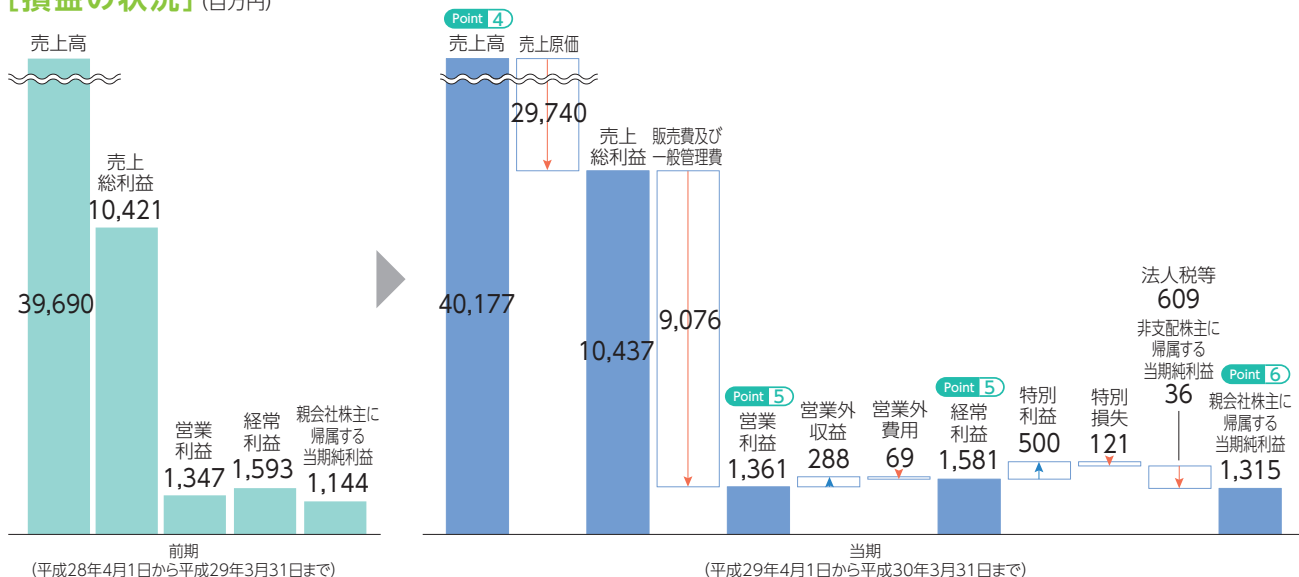
負債は、前連結会計年度末に比べ7億20百万円(前期末比4.2%)増加し、179億3百万円となりました。主な増減要因としては、流動負債では、賞与引当金が33百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が79百万円増加し、また、未払費用が1億8百万円増加したことなどにより、3億94百万円(同2.5%)の増加となりました。固定負債では、リース債務が38百万円増加し、また、繰延税金負債が2億62百万円増加するなど、3億26百万円(同21.6%)の増加となりました。

### Point 3 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億85百万円(前期末比5.5%)増加し、306億23百万円となりました。主な増減要因としては、その他有価証券評価差額金が3億73百万円増加し、また、退職給付に係る調整累計額が2億13百万円増加しました。株主資本合計は、利益剰余金が10億6百万円増加し、280億76百万円となりました。この結果、自己資本は300億40百万円となり、自己資本比率は61.9%となりました。



## [損益の状況] (百万円)



### 損益の状況

#### Point 4 売上高

当社グループの主な取り組みとして、建築資材事業では、施工付製品の拡大に努めました。中でも、人工木材「プラスッドソライエデッキ」は非住宅向けデッキと共に大きく成長しました。また、パーティクルボードなどの資材不足があったものの、フリーフロア（乾式二重床）も売上げを伸ばすことができました。更に、建築物の遮音対策としては全く新しいコンセプトの粒状床衝撃音低減材「サイレントドロップ」を発売し、日経アーキテクチュアと日経ホームビルダーが主催する「建材設備大賞2018」にて大賞を受賞いたしました。一方、主力の新築住宅市場では、集合住宅向け樹脂開口枠や点検口の新タイプを投入し、デザイン性を向上させると共に、実用性・機能性を兼ね備えた商品展開を行ってまいりました。

産業資材事業では、住設分野や窓枠分野の売上増加および生産性改善に注力したほか、新規顧客の開拓にも注力いたしました。また、精密分野では、エンジニアリングセールスに注力し、車載用の低反射樹脂パネルが順調に受注を確保しております。海外事業では、米国やベトナムでの受

注が好調に推移し、今後の更なる受注拡大に向け生産促進活動を強化しております。

以上により、当連結会計年度の売上高は、401億77百万円と前期に比べ1.2%の増収となりました。

#### Point 5 営業利益・経常利益

生産性向上に向けた工場の再編・集約に伴う一時費用の増加や原料価格上昇等の圧迫要因もありましたが、全社一丸となって原価低減に取り組んだことにより、営業利益は13億61百万円（前期比1.1%増）、経常利益は15億81百万円（同0.7%減）となりました。

#### Point 6 親会社株主に帰属する当期純利益

また、工場集約に伴う跡地売却による特別利益を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は13億15百万円（前期比15.0%増）となりました。

# グループ一覧 (平成30年3月31日現在)

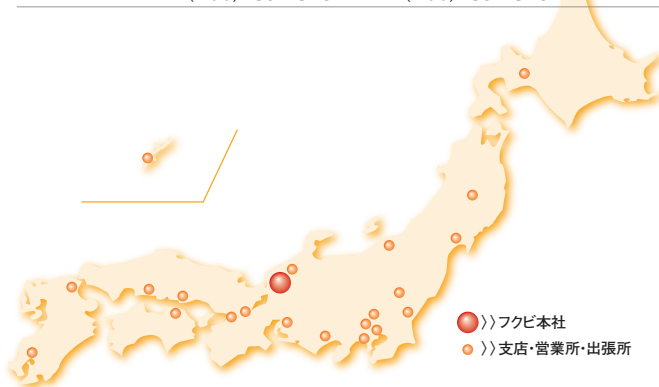
## ■事業所

本社	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8001 FAX(0776)38-8080
東京支店	〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号(フクビビル) TEL(03)5742-6300 FAX(03)5742-6316
札幌支店	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2丁目4番地1 TEL(011)896-7500 FAX(011)896-5353
盛岡営業所	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通り15番19号(盛岡フコク生命ビル4F) TEL(019)654-7511 FAX(019)654-7519
仙台営業所	〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南97番3号(東インター斎喜ビル3F) TEL(022)287-3471 FAX(022)287-3468
新潟営業所	〒950-0911 新潟市中央区笹口1丁目20番5号(ファイビル4階) TEL(025)241-7832 FAX(025)243-5470
宇都宮営業所	〒321-0953 宇都宮市東宿郷6丁目1-7(ビッグ・ビー東宿郷4F) TEL(028)636-3521 FAX(028)636-6310
東関東営業所	〒300-0847 茨城県土浦市御前1丁目1-1(関鉄つくばビル2階) TEL(029)841-7611 FAX(029)841-7622
北関東営業所	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3丁目305番地(杉ビル3・4F) TEL(048)661-0400 FAX(048)661-0407
西東京営業所	〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-17(中島ビル1F) TEL(042)529-3911 FAX(042)524-9494
神奈川営業所	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-3-4(クレシエンドビル3F) TEL(045)470-1050 FAX(045)473-8555
大阪支店	〒564-0053 吹田市江の木町17番12号(フクビビル) TEL(06)6386-0800 FAX(06)6338-3313
京都営業所	〒601-8131 京都市南区上鳥羽鴨田18(らくなんビル2F) TEL(075)662-2315 FAX(075)682-2943
岡山営業所	〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15号(岡山商工会議所ビルディング8階) TEL(086)232-0601 FAX(086)232-0605
広島営業所	〒730-0041 広島市中区小町3番25号(三共広島ビル) TEL(082)246-7211 FAX(082)249-5802
高松営業所	〒760-0023 香川県高松市寿町1丁目1番8号(日本生命高松駅前ビル2F) TEL(087)822-2301 FAX(087)822-2308
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-13-21(エフビルウイング2F) TEL(092)471-5800 FAX(092)471-5737
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町12番2号(明治安田生命鹿児島中央町ビル4F) TEL(099)259-0220 FAX(099)251-4086
沖縄出張所	〒901-0146 那覇市具志3丁目35-9(トップヒルズ具志5-C) TEL(090)1943-2112 FAX(098)859-1802
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16番4号(BPRプレイス名古屋丸の内5F) TEL(052)855-2331 FAX(052)855-2337
静岡営業所	〒422-8066 静岡市駿河区泉町2-3(アズマビル1F) TEL(054)288-3600 FAX(054)288-3885
北陸営業所	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8010 FAX(0776)38-8082
本社工場	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 TEL(0776)38-8026 FAX(0776)38-8055

坂井工場	〒919-0506 福井県坂井市坂井町定旨1字1番地 TEL(0776)66-8600 FAX(0776)66-4641
三方工場	〒919-1303 福井県三方上中郡若狭町三方18号宇菅原45番地 TEL(0770)45-1260 FAX(0770)45-1206
あわらバイオ工場	〒919-0811 福井県あわら市蓮ヶ浦34字10 TEL(0776)76-2029 FAX(0776)76-4306
岐阜加工センター	〒504-0922 岐阜県各務原市前渡東町4丁目188 TEL(058)372-6361 FAX(058)372-6362

## ■関係会社

リフォジュール株式会社	〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目23番3号(フクビビル) TEL(03)5742-6331 FAX(03)5742-6337
フクビハウジング株式会社	〒028-3452 岩手県紫波郡紫波町片寄字下谷地738番地 TEL(019)673-8252 FAX(019)673-8171
アリス化学株式会社	〒919-0746 福井県あわら市東田中6-1 TEL(0776)74-1311 FAX(0776)74-1152
FUKUVI USA, INC.	7631 Progress Court, CenterPoint70, Commerce Park, Huber Heights, Ohio, 45424, USA TEL(+1)937-236-7288 FAX(+1)937-236-7289
FUKUVI VIETNAM CO.,LTD.	Plot 307/1, Road 7A, Anam Industrial Park, Long Binh Ward, Bien Hoa City, Dong Nai Province, Vietnam TEL(+84)251-8877114 FAX(+84)251-8877116
FUKUVI (THAILAND) CO., LTD. / FUKUVI HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD	141 Major Tower Building, 10th Floor, Unit No.6, Soi Sukhumvit 63 (Ekamai), Sukhumvit Road, Klongton-Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand TEL(+66)2392-3752 FAX(+66)2392-3754



● 〓 フクビ本社  
○ 〓 支店・営業所・出張所

# 株式の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

## 株式の状況

### 株式の総数

発行可能株式総数	63,000,000 株
発行済株式の総数 (自己株式72,828株を除く)	20,615,597 株

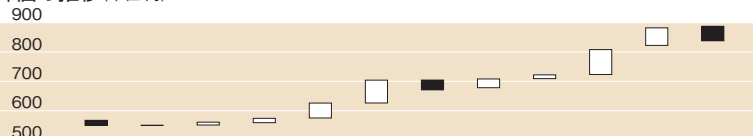
当期末現在の株主数 1,998 名

### 大株主

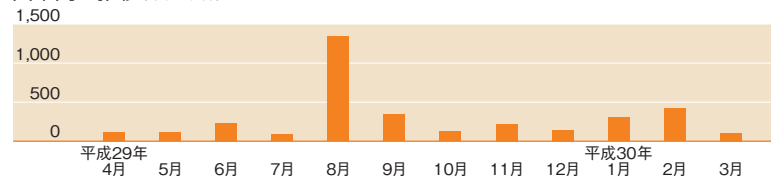
株主名	持株数
株式会社八木熊	2,574,140 株
長瀬産業株式会社	2,464,308
三井化学株式会社	2,001,885
三井物産プラスチック株式会社	983,220
株式会社福井銀行	710,300
昭和興産株式会社	669,573
株式会社北陸銀行	624,900
八木誠一郎	610,703
蝶理株式会社	600,382
八木信二郎	540,581

## 株価チャート

### 株価の推移 (単位:円)

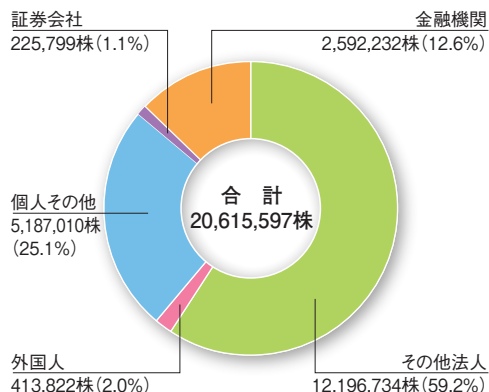


### 出来高の推移 (単位:千株)

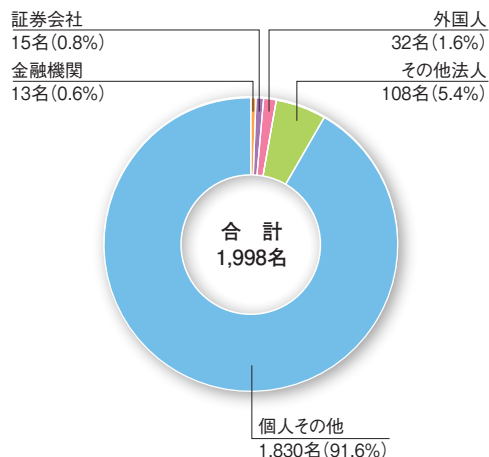


## 株主分布状況

### 〈所有数別〉



### 〈所有者別〉



ホームページのご紹介 <http://www.fukuvi.co.jp/>



トップページ



IR情報



会社情報

## 株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。  
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日  
公告方法 電子公告により行います。  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
<http://www.fukuvi.co.jp/>  
上場証券取引所 東京市場第2部・名古屋市場第2部

単元株式数 100株  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### ご注意

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本店にてお取扱いいたします。

独自の技術で未来をひらく



この事業報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

